

校務D X計画

令和7年3月 滋賀県近江八幡市

本市では平成31年度から教職員を取り巻く働き方の一環として校務系システムを導入し、改善を図ってきたところである。

当初はオンプレミスによる境界型制御による校務系ネットワークの構築を行ってきたが、機器の老朽化やネットワーク環境の変化、特にランサムウェアなどの脅威に対する対応が現在の機器では不十分であることから、令和7年1月から校務系システムの更新に着手している。

今回の更新では、①校務・学習系ネットワークの統合 ②ゼロトラスト導入によりオンプレミス方式からクラウド方式への更新 ③校務支援システムの更新 の3点を主に更新を行うことで、教職員のさらなる働き方の改善を図る。更新に当たり検討している主な項目は以下のとおり。

- ① 校務・学習系ネットワーク統合により学内だけでなく、市内他校や教育委員会でのネットワーク活用を行うことで場所を問わない業務の実現を図る。
- ② クラウド化によりデータ共有を進めることでペーパーレスやFAXでのやり取り、押印の見直しを図る。
- ③ ゼロトラスト導入のために使用するMicrosoft365の機能を活かし、教職員間の連絡や会議をチャット又はオンラインで実施し業務の効率化を促進する。
- ④ 校務支援システム更新にあわせて保護者との連絡を簡便化させるためのツールを導入することにより、ペーパーレス化の促進や業務の効率化を図る。
- ⑤ 校務支援システム更新にあわせて学校を取り巻く各種データを整理・統合・分析を行うためのダッシュボード機能を導入し、学校データの利活用による効果的な業務の推進を図る。
- ⑥ 校務系システム更新に合わせて、既存の学校教育セキュリティポリシーを更新する。